みち銀労組 町に児童図書費を寄付

みちのく銀行労働組合（佐々木彰布執行委員長）は11月24日（水）、地域社会に対する奉仕活動の一環で、児童図書購入費用に使ってほしいと10万円を寄付しました。

同組合は1996年からボーナスの時期に、県内外に寄付を行っています。

町役場を訪れた佐々木執行委員長が「未来を担う子どもたちの想像力を育てるために使ってほしい」と述べ、相川町長に目録を贈呈しました。

同席した山本教育長は「統合した新校舎の図書室をより充実したものにできるので、今回の寄付は大変ありがたいです」と感謝を述べていました。

△相川町長に目録を手渡す佐々木執行委員長

あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

名前は「タンちゃん」に決定

11月22日（月）、町内の丹頂鶴自然公園で2020年に生まれたタンチョウ（メス）の名前が「タンちゃん」に決まりました。

誕生した2020年が町と鹿児島県さつま町の友好交流協定締結10周年に当たることから、両町の小学生5・6年生から案を募集。応募数294点の中から選考の結果、鶴田小学校5年生千葉楓太さんの案が採用されました。

町役場を訪れた千葉さんに相川町長から、表彰状と副賞として鶴田町とさつま町の特産品が贈られました。

千葉さんは命名に際して「名前に『ちゃん』がつけばかわいいと思った。元気に育ってほしいです」と話していました。

△すくすくと成長したタンチちゃん（11月撮影）

千葉　楓太さん

結婚生活50周年を祝して

11月22日（月）、町国際交流会館ホールで金婚式が開かれ、町内に住む結婚50周年の夫婦に顕彰状などが贈られました。

昨年は新型コロナウイルスの影響で開催を中止。2年ぶりの開催となりました。対象は1971年4月1日から72年3月31日までに婚姻届を提出した夫婦52組で、うち13組が出席しました。

相川町長は「今後も健康に留意し、夫婦仲睦まじく充実した人生を過ごしてほしい」とあいさつ。夫婦1組ずつに顕彰状と記念品を手渡しました。

顕彰者代表の工藤正弘さん、淑子さん夫婦は「これまでに多くの困難がありましたが、夫婦二人三脚で歩んできました。また、周囲の方々の支えには感謝しかありません」と謝辞を述べました。

△相川町長から顕彰状を受け取る金婚夫婦

△関交通部長（左端）から感謝状等を受け取った相川町長と奈良会長（左から3人目）

交通死亡事故ゼロ900日を達成

町では11月21日（日）をもって、交通死亡事故ゼロ期間900日を達成し、同月24日（水）、町交通安全対策協議会（会長：相川町長）と、町交通安全母の会連合会（奈良順子会長）が青森県警察本部から感謝状が贈られました。

県警察本部の関重雄交通部長らが町役場を訪れ、相川町長に感謝状を、奈良会長に表彰状を贈呈しました。

相川町長は「町を挙げて交通事故のない町にしていきたい」と話していました。

今現在の地区別の交通死亡事故ゼロ期間最長記録は、梅沢地区の8,316日（令和3年11月31日時点）です。

地域おこし協力隊通信

Vol.41（筆：山田園実）

あっという間に年末ですね！移住してきた年から元町弥生会の弥生画製作に参加しています。皆さんご存じかと思いますが、五穀豊穣の願いを込めて製作された弥生画はお正月に神社に奉納されます。小さな豆を一粒一粒貼り付けていくのはもちろん大変な作業ですが（体験してみたい方お気軽にお声掛けください！）その作業が始まるまでにも土台作り・下絵描き・運搬作業など夏頃から準備が始まっているのです。想いの詰まった弥生画、今年はどんな出来上がりになるのか、お楽しみに！

△豆付けを行う山田園実さん

山田さんのSNS

Twitter　facebook

地域おこし協力隊の活動内容は、SNS・町ホームページでも確認することができます。